

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2006-158439(P2006-158439A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-350068(P2004-350068)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 0 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月22日(2009.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技用媒体を用いて遊技を行う遊技機において、

所定の送信条件成立を判定する送信条件成立判定手段と、

前記送信条件成立判定手段での成立判定に基づいて、当該遊技機から遊技者の携帯する携帯情報機器に提供すべき提供情報を決定する提供情報決定手段と、

前記提供情報決定手段で決定された提供情報を、電磁波の信号形態で送信する送信手段と、

を備え、

前記送信条件成立判定手段は、当該遊技機が所定状態となることに基づいて所定の送信条件成立を判定する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記送信手段は、可視光を出力する発光部と、前記発光部の発光強度を所定の変調パターンで光強度変調制御する変調部とを備え、前記提供情報決定手段で決定された提供情報を、所定の変調パターンで可視光を光強度変調した信号形態で送信するものである

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項2に記載の遊技機において、

前記提供情報決定手段は、複数種類の提供情報を記憶する提供情報記憶手段を備え、前記送信条件成立判定手段での成立判定に基づいて、前記提供情報記憶手段に記憶された複数種類の提供情報の中から所定の一の提供情報を決定するものであり、

前記提供情報決定手段での複数種類の提供情報ごとに種類の異なる複数個の変調パターンを記憶する変調パターン記憶手段と、

前記提供情報決定手段で決定された提供情報に対応する、前記変調パターン記憶手段での所定の変調パターンを読み出す読み出し手段とを備え、

前記変調部は、前記読み出し手段で読み出された所定の変調パターンで、前記発光部の発光強度を光強度変調する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 2 または 3 に記載の遊技機において、

当該遊技機に配設され、かつ、遊技機が所定の状態となった場合に動作する部材であつて、前記発光部を遮る遮光状態と前記発光部を露出する露出状態とに状態変化する動作を行う動作部材を備え、

前記送信手段は、前記動作部材が露出状態となっているときに提供情報の送信を行うことを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の遊技機において、

前記動作部材は、遊技者にとって有利な特定遊技状態の発生を示すための識別情報を変動表示する識別情報変動表示手段の周囲を飾りつける装飾部材の所定箇所に配設されている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の遊技機において、

遊技球の入球が可能な開放状態と、遊技球の入球が不可能な閉鎖状態とに可変する開閉部を有する可変入球手段を備え、

前記動作部材は、前記可変入球手段の前記開閉部であり、前記開閉部を閉鎖状態とすることで前記発光部を遮る遮光状態を形成し、前記開閉部を開放状態とすることで前記発光部を露出する露出状態を形成するものである

ことを特徴とする遊技機。